

# 山 兼 待



## 大阪大学経済学部同窓会

2015年（平成27年）4月1日 第31号

ホームページ <http://www.machikaneyama.jp>

### 国立大学改革待ったなし

同窓会名誉会長  
大阪大学大学院経済学研究科長・経済学部長

### 大西 匡光

いま国立大学は、未だ経験したことの無い重大な岐路に立たされています。

第186回通常国会において、学校教育法と国立大学法人法の一部が改正され、学長のリーダーシップとその補佐体制が強化され、大学改革の取組を進めるための環境が整備されました。部局のいわゆる教授会の権限が弱められ、学長らがトップダウン型の大学運営を行えるガバナンス改革が、政府主導で成されようとしています。

また、官邸主導のもと、2014年12月17日産業競争力会議では、国立大学が多様な役割を果たすことを踏まえ、平成28年度からの（法人化後）第3期中期目標期間においては、（1）地域活性化・特定分野重点支援拠点（2）特定分野重点支援拠点（3）世界最高水準の教育研究重点支援拠点、の3種の新たな大学の類型を設けた上で、それぞれが固有の機能や役割を発揮するべく、きめ細かく予算措置や評価を行い、機能強化を図る

ことが検討されています。さらに、世界水準の教育研究機能を有する国立大学などで、一定の条件を満たしている場合に特定研究大学（仮称）と称され、特例措置を講じて支援する制度を創設し、「今後10年間でグローバル・ランキング・トップ100に10校以上入る」との目標を達成する上での梃子にするため、世界の研究大学を意識した経営等を行うことを促進するとしています。ただし、上記の特定研究大学の要件は、学内ガバナンス、教育・研究、学内評価での国際化・グローバル化度で、例えば、学長選考会議や経営協議会への海外の研究大学の経営陣等の参画、外国人教員や外国人留学生の割合、英語による学位コースの数、海外の研究大学等の関係者の参画による厳格な評価の実施などが求められるようです。

大阪大学は、特定研究大学を目指す他に道は無いと考えますが、その際に、我が経済学部・大学院経済学研究科の果たすべき役割、そして求められることは小さくはなく、また厳しいと覚悟せざるを得ません。前号の巻頭言で、我が部局の教育・研究上の国際化・グローバル化での活動・取組について、少し御紹介しましたが、それらにおいて期待されるのは、卒業生ネットワークの国際化・グローバル化で、今後も同窓会からの御協力を得て、一層の拡充を図り、大阪大学が特定研究大学への道を歩むことに貢献したいと考えていますので、何卒御支援のほど、よろしくお願い致します。

## 「第21回大阪大学経済学部同窓会総会・懇親パーティ」のお知らせ

日 時	平成27年7月4日（土）	受付	午後1：30～
場 所	リーガロイヤルホテル	大阪市北区中之島5-3-68	TEL06-6448-1121
		光琳の間（タワーウイング3階）	
総 会	午後2：00～3：00		
記念講演会	午後3：15～4：15	大日本塗料株式会社 代表取締役社長	岩浅壽二郎氏（新制19期、昭和46年卒）
懇親パーティ	午後4：30～6：00		
会 費	事前振り込み	5,000円、当日	6,000円

※同窓生の皆さまの、奮ってのご参加をお待ちしています。



同窓会長ごあいさつ

# No.1をめざし、主体的に行動を

経済学部同窓会 会長 古川 実

同窓会会報「待兼山（第31号）」を発行するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

平成25年7月に同窓会会長に選任されて以来2年近く経過しようとしています。

その間の我が国経済は平成26年4月の消費税の8%への増税の影響を完全に吸収出来ていないものの、昨年10月～12月期は第3四半期振りに実質経済成長率はプラスとなり、消費税10%への増税が平成29年4月へ1年半延期されたこともあり、ようやく回復軌道に乗ってきております。

これからはアベノミクスの「第三の矢」である成長戦略が着実に実行され、我が国経済がいよいよ本格的に成長していくことが強く期待されています。

企業が成長なくしてコスト削減だけで増益の継続が困難であると同様、国においても経済成長なくして増税だけで増益を確保し続けるのは困難であります。企業の成長による増益を通じた増益の確保と福祉の向上こそがアベノミクスの本質です。

そのためアベノミクスの「第三の矢」である成長戦略は、民間の投資を惹起するもの即ち民間の事業活動を活性化させる施策であります。

その施策の目玉は 1) 岩盤規制の改革 2) TPPの実現

3) 女性の活躍推進 4) 法人実効税率の低減 の4つと言われていますが、これらの施策は決して即効薬ではありません。すべて企業がその自由意思において、より積極的に活動出来るようにするための施策であり、成果が出てくるまでには相当程度長期の時間軸を見据えなければなりません。その時間軸の重要性について最近の企業業績に着目したいと考えます。昨年、我が国最大の民間企業であるトヨタ自動車が一時的な赤字転落以来数年振りに史上最高益を更新しました。増益には円安効果もありますが、何よりその間の弛まぬ企業努力があって初めて実現出来たものであります。

20世紀最大の経営者と言われたGEのジャックウェルチは業界No.1またはNo.2以外の事業はしないという「選択と集中」の政策を実行し、GEを大きく変革しましたが、いまや各企業が成長し、生き残ってゆくためにはこのジャックウェルチ戦略を実行してゆくことは半ば常識となっています。

トヨタ自動車は正にその象徴です。そして勝ち残ってゆ

くためには常に変化してゆく必要があります。それがトヨタ自動車にとっては新に発売したFCV（燃料電池自動車）であると考えられます。

トヨタ自動車の他にも多くの企業がリーマンショック時の赤字から史上最高益を更新するまでに企業体質を強化されてきていることは大変喜ばしいことです。

企業体質の強化は単に量的拡大にとどまらず、事業領域の拡大、既存事業領域からの撤退も包含するものであります。既存事業領域からの撤退、新領域での成功で一番有名なのは富士フィルムです。世界最大のフィルムメーカーのコダックが倒産して、富士フィルムが勝ち残ったのは企業が変わったからです。

また、炭素繊維で有名な東レは誰もがやらない開発を50年間続けてきて、やっとその炭素繊維が東レの屋台骨をささえる事業に成長しつつあります。

弊社日立造船においても10年以上前に造船事業から撤退し、ゴミ焼却炉を中心とする環境事業に経営資源を集中し、環境事業業界No.1を目指して頑張っているところですが、業界No.1と言ってもすべての企業がトヨタのようなグローバルNo.1になれるわけではありません。弊社はグローバルニッチNo.1を目指して頑張っています。

すべての企業は生き残りをかけて日夜苦闘しています。

ダーウィンの進化論には最も環境に適応した者のみが生き残るとありますが、企業においても世界No.1、業界No.1を目指して頑張る者のみが生き残ってゆけるのです。そして、ローマは一日にしてならず、努力を継続する者のみが生き残ってゆけるのです。

アベノミクスによりすべてが与えられるわけではありません。企業が、我々が主体的に行動することによりその成長の果実をつかみ取ることが出来るのです。日々の出来事に一喜一憂することなく、少なくとも2020年の東京オリンピックまでの時間軸を見据えて努力を続けてゆくことが何より肝要であると考えます。21世紀に日本が輝ける国になれるかどうか、正にこれからの数年にかかっていると言っても過言ではありません。本年がそのスタートの年になることを祈っております。

最後に皆様のご健勝をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

## 同窓会ゴルフコンペのお知らせ

恒例の「同窓会懇親ゴルフコンペ」を開催いたします。総会へのご参加に併せ、交歓の機会としたいと思います。お誘い合わせの上、奮ってご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。



日時 平成27年7月5日（日）

場所 関西クラシックゴルフ倶楽部 兵庫県三木市吉川町湯谷567 TEL 0794-72-1231

集合 8:00 8:49 湯谷・清水コース 5組 8:49 清水・大洞コース 5組

参加費 22,000円以内（昼食代、プレー後会食費込み）賞品代は同窓会から助成します。

事前振込制とします。振込口座等は事務局へ連絡いただいた会員に別途ご連絡いたします。

連絡先 大阪大学経済学部同窓会事務局

TEL 06-6850-5275（火・木・金の午後1時～5時） FAX 06-6850-5276

E-Mail machikane@econ.osaka-u.ac.jp

## 東京待兼会だより

会長 久保 恵一（新24期）

昨年5月の総会（東京待兼会第14回総会）で承認を受け、現在の幹事体制は2期目に入りました。目立った成果はなかなか上がっていませんが、今後も地道な活動を継続していきたいと考えています。継続こそが力です。

さて、昨年1年間を振り返ってみます。

### ・5月28日

学士会館にて第14回総会を開催しました。更なる組織強化を謳った活動方針案が採択されました。

総会の後は、慶應大学教授の土居丈朗先生（経済・新41期）から、「消費税後の日本」と題した講演をいただきました。今回の消費税率引き上げの背景であった「社会保障・税の一体改革」の説明に始まり、社会保障における深刻な問題点に関する指摘、財源の見直しへとお話しは進みました。また、医療制度（高齢者医療）、介護保険および年金制度といった、社会保障各分野の抱える問題点にも言及され、参加者一同大きな関心をもってお話を聴きました。

### ・11月8日

日本教育会館にて秋季懇話会を開催しました。（法学

部青雲会と共催）

講師に筑波大学学長特別補佐で、人文社会系教授の辻中豊先生（法・新24期）をお招きし、「市民と政治の間を調査する～エピソード編」と題する講演をいただきました。政治学者として1997年以来、日本含む15カ国における市民社会構造の調査研究に携わってこれ、「すべてを調査する」「多様な世界の『市民と政治の間』を真摯に調査する」という辻中先生の使命感が参加者の大きな共感を呼びました。

春秋とも講演会の後は、恒例の懇親会を開催。法経同窓の交流の輪は広がっています。当会の課題である若手会員の拡充については、10月6日、学士会館にて若手交流会を開催するなど、継続して若手の参加を呼び掛けております。

ゴルフ部会の活動は、相変わらず活発です。4月、9月、12月の定例コンペに加え、7月には1泊2日で夏のゴルフツアー（福島）も開催しました。

連絡網もほぼ整理され、ニュースレターの発行など、会員への情報提供を進めてまいります。

## 名古屋待兼会だより

会長 近藤 俊雄（新12期）

名古屋待兼会は、文系だけではなく、薬学部・工学部など幅広い同窓の皆様の集いです。

例会は、原則として「小の月の第三土曜日の18時から」、名古屋の中心部に近いホテルで開催し、毎回20名強が出席しています。

冒頭に、会員が交替制で、幅広いテーマで約30分間話をし、その後は懇談の時間としています。出席者は近況報告を含めて一言ずつ発言することにしており、和気藹々の雰囲気です。

経済学部長の大西先生をお迎えした、昨年11月の総会では、出席者が「それぞれの20歳の学生時代」について紹介しました。幅広い年代の出席者から、時代世相を反映した学生生活の話聞くことができ、大変興味深い懇親会となりました。

名古屋待兼会では、多数の皆様の参加をお待ちしています。

（同窓会事務局までご連絡ください）

### ■ 2月例会「細井平洲と上杉鷹山」

秋田 量正さん（S37法）

### ■ 4月例会「癌にならない食の秘訣」

西山 好英さん（S30経）

### ■ 6月例会「ラテンの国、メキシコへ国際協力に出掛けて」

川口 恭則さん（S47基工）

### ■ 9月例会「オカリナの音色に魅せられて」

平尾 喜隆さん（S41経）

### ■ 11月総会

経済学部長の大西匡光先生をお迎えし「最近の母校、経済学部の話題から」との演題でご講演をいただきました。



# 期会、ゼミ会だより

## 新制4期(昭和31年卒)同期会

毎年11月の第1金曜日に、眼下に大阪城が見えるOBPのパノラスカイレストランアサヒでの開催が恒例となっている新制4期生会を、平成26年11月7日に開催した。今回は8名が出席。幹事の開会挨拶の後、最近の活動や健康状況について3分間スピーチを行い、元気と熱気で会場が盛り上がった。

メンバーの高齢化もあり、平成27年11月6日(金)正午から、昼会として「最終会」を開催することに決め、1年後の再会を約して散会した。



## 新制9期(昭和36年卒)「山麓会」

平成26年11月27日、毎年、春秋2回の開催が恒例となっている新制9期「山麓会」を大阪市・本町の備後町クラブにて開催した。参加者は17名。今回はロンドン在住の松浦氏から「英国人気質」のスピーチを聞き、その後、参加者全員が近況報告とそれぞれの健康法を披露しあった。喜寿を迎えるメンバーもいるなか、元気で楽しい時間を持つことができた。



「期会・ゼミ会だより」は、同窓会ホームページにも掲載しています。



同期会の開催等の会員情報が必要な方は、同窓会事務局までお問い合わせください。

## 新制12期(昭和39年卒) 「卒業50周年記念の集い」

平成26年9月9日～10日、卒業50周年を記念して1泊2日で同期会を開催した。卒業生110名のうち42名が参加し、大型バスを貸し切り、初日は豊中キャンパスを訪問後、有馬グランドホテルでの宴会。翌日はゴルフなど、全員72歳以上にも拘らず、元気に楽しい時間を過ごした。



### 新制13期(昭和40年卒)同期会

平成27年2月20日、大阪大学中之島センターで、第13期同期会を開催し、24名が参加した。トマ・ピケティの「21世紀の資本論」の読破を目指す者や、今も山歩きを楽しんでいる者も多く、皆が元気で頑張っていることが伝わる同期会であった。

卒業50周年という記念の年となる今年は、関東の仲間も含めて、秋に母校・豊中キャンパスに集合するという企画の提案があった。

来年2月19日に再会することを約束して散会した。



### 新制15期(昭和42年卒)同期会

平成26年3月14日、ガーデンシティクラブ大阪にて、新制15期同期会を開催した。今回は2年ぶりの開催となったが、関東・東海・北陸・九州・関西地区から20名が参加した。

各人の近況報告や学生時代の思い出などで盛り上がり、3時間を楽しく懇談した。古希を迎え、仕事をリタイアしてゴルフ・旅行・囲碁等の趣味を楽しむ者、まだまだ仕事・ボランティアを続けている者など、様々な道を歩んでいるが、お互いに元気に、次回再開することを期して、散会した。



### 蠟山ゼミ同窓会

平成26年4月19日、メルパルク東京にて、蠟山ゼミ同窓会を開催した。蠟山先生の令夫人にもご参加いただき、関東・関西・北陸から、ゼミ1期生から最終期生までの36名が出席した。

当日は懐かしい写真や思い出の品々に加えて、卒業生のアンケート調査結果も披露され、先生の思い出話に花を咲かせて大いに盛り上がった2時間となった。



### 第21回「楽営会」(小林敏男ゼミ)

平成26年12月13日、小林先生の著書『事業創成—イノベーション戦略の彼岸』(有斐閣)上梓を記念して、グランフロント大阪の谷岡学園梅田サテライトオフィスで研究会を開催した後、ホテル阪急インターナショナルで出版記念祝賀会を兼ねた「楽営会」を開催した。

研究会では、先生方の様々な分野に関する研究成果を知ることができ、非常に良い刺激を受けた。楽営会では、多くのOB・OGの方々と接する機会があり、大変濃いお話を伺うことができた。今回得た知識や繋がりをこれからも大切にしていきたい。



# 特集 同窓会活

## 経済学部同窓会について

大阪大学経済学部同窓会は、卒業生の親睦会「阪大経友会」を母体に設立。30周年事業が行われた1979年ごろ、運営を担う事務局、各専門部会が組織され、実情に応じ再編が行われてきました。現在の会員数は約13,000人に達します。今回の特集では、各部会の取り組みを中心に紹介します。

## 同窓会の組織

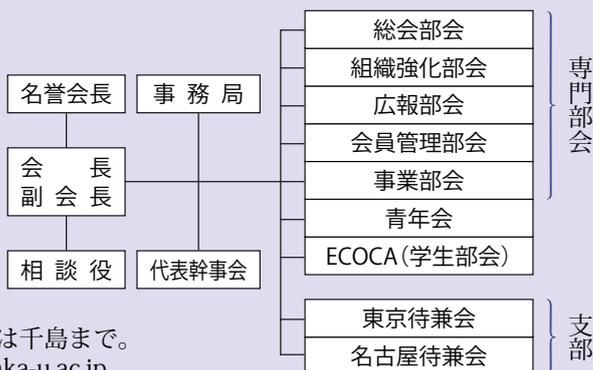
同窓会は、右図のような組織で活動しています。同窓会長と副会長、名誉会長の下、事務局、専門部会が具体的な活動を担います。

同窓会事務局は、経済学部の本館に、OFC（オープン・ファカルティー・センター）と同居しています。



同窓会事務局とOFCのスタッフのみなさん

事務局への問い合わせは千島まで。  
machikane@econ.osaka-u.ac.jp



## 代表幹事会

卒業年次ごとに選ばれた同期代表が代表幹事です。同期生同士の横の連絡を取りながら、同窓会事務局を介して縦の連絡も。この代表幹事が顔を揃え、事務局役員と意見を交わす場が代表幹事会。決定機関となる「同窓会の議会」です。新年と秋、総会開催年は春にも開催されます。



去年の代表幹事会でのひとコマ

## 組織強化部会

組織強化部会長 石田 高仁（新29期）

同窓会会員の定着と求心力強化を図り、会費納入率アップ、代表幹事会など会合の出席率アップへ、活動の活性化に取り組んでいます。会員が気軽に利用できる施設として、西梅田のガーデンシティクラブ大阪（GCCO）に法人加入しています。

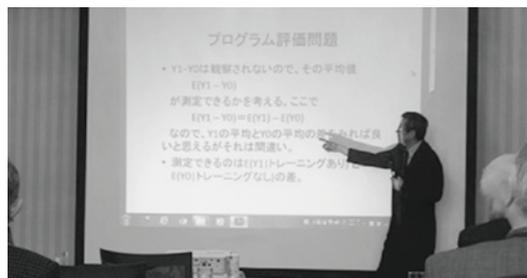
## 事業部会

事業部会長 村井 純彦（新29期）

周年事業などの節目での取り組みや、イベントの企画・運営を担っています。

去年から始めた「経済学部同窓会セミナー」は、ことし2月25日が第2回。日本総研関西経済研究センター所長 廣瀬茂夫氏に「関西経済、どうすりゃ浮上するか！」というテーマで講演いただきました。

終了後の懇親会では、親睦を深めました。



去年2月の第1回セミナー東京大大学院・市村英彦教授（新29期）  
『ビッグデータから見えるもの』

# 動の歴史と近況

## 総会部会

総会部会長 田中 俊男 (新31期)

総会部会は、2年に一度の同窓会総会の企画・運営を担当しています。日程調整と会場手配に始まり、講師の依頼、総会内容検討から当日の進行まで、東京・名古屋の両支部や、ECOCA（学生部会）・青年会、事務局とも連携し、総会に関するあらゆる業務を行っています。

1年おきに開かれる総会には、170名前後が出席し、会員同士の旧交を深めています。現在は、3カ月後に迫った7月4日の第21回総会に向けて、最後の調整を進めているところです。



おとしの同窓会総会  
(岩田松雄さん(新30期)の講演)



## 会員管理部会

経済学部同窓会は、正会員（卒業生・修了生）、名誉会員（現・元教員）、準会員（現役学生・院生）で構成されます。会員管理部会では、主に正会員の管理を行っています。

個人情報保護の流れを受け、4年に一度の名簿発行は取りやめ、名簿のWEB化に着手、昨年2月からWEB名簿のサービスを開始しました。パソコンを使って各自でデータ更新が可能になり、開示・非開示の内容も選択できるようになるなど、利便性とセキュリティが向上しました。

また、多数に上る住所不明者の確認や、会費を納入いただきやすい仕組みづくりにも取り組んでいます。



## 青年会

青年会は2010年に設立されました。活動の趣旨は、卒業後なかなか活性化していない若手社会人の同窓会への参画を図り、同窓会全体の活性化への一助となることにあります。

それまでは彼らが社会に出て活躍を始めた後に、同窓生との横のつながり・同窓会と縦のつながりが希薄になる現状がありました。そこで青年会を通じて、若手社会人の同窓会活動を盛り上げていこうと取り組んでいます。

## ECOCA（学生部会）

60周年を記念して発足した学生部会（ECOCA）は「学部生同士のつながりを深め、大学生活を充実させる」「キャリア形成のため自分磨きの場を提供する」という理念のもと精力的に活動しています。

新入生歓迎会、OB・OG交流会、法経OB・OG交流会、就職活動支援プロジェクト（就職活動対策セミナー）、卒業祝賀会などのイベントを通して、現役学生と卒業OB・OGをつなぐ大きな役割を果たしています。また、卒業生は同窓会活動に積極的にに関わり、強い絆づくりに一役買っています。

## 広報部会

広報部会長 河添 正己 (新29期)

経済学部同窓会ホームページと経済学部同窓会報「待兼山」の編集・発行を担当しています。

ホームページには、同窓会イベント、季節ごとのキャンパスの様子、期会・ゼミ会の情報、「同窓会報」の取材トピックスなど、タイムリーに更新すべく活動しています。現在のアクセス数は毎月約500件、ページビュー数は1,300件ほどです。さらに多くの方にアクセスいただき、同窓会の活動をお伝えできるよう鋭意努力してまいります。「同窓会報」もホームページからPDFファイルで読むことができます。

同窓会報「待兼山」は、現在、広報部会の役員3人で編集を担当しています。中でも特に力が入るのは「卒業生インタビュー」と「特集」です。卒業生には錚々たる先輩方が少なくありません、各業界の多士済々な方々、フレッシュな面々にも、貴重な話を伺います。「特集」では、学部・キャンパスの最新事情、トピックスなどを取材、興味深く読み応えのある内容をめざしています。



同窓会報の編集打ち合わせ

## 新幹事紹介



63 期代表幹事  
廣田 和夫

このたび、同窓会63期代表幹事を務めさせていただくことになりました廣田和夫と申します。

私は大学2年次に編入学試験を受け、大学3年次より大阪大学経済学部へ編入学しました。編入後は大阪大学の学生のレベルの高さに感心し、授業、ゼミとより高い環境で学習ができることが大変うれしく、とても良い刺激となりました。

編入学した関係で、当初は経済学部の友人が全くいませんでしたが、授業やゼミで出会ったメンバーは大変親切ですぐに打ち解けることができました。また、ゼミの先輩の誘いで同窓会学生会部会（ECOCA）の運営メンバーに加わりました。そこでは、自

分自身の交友関係を広げるだけでなく経済学部の学生同士の交流を深める活動に参加でき、それにやりがいを感じられたとともに、自分自身ECOCAの活動を通じ人間的に大きく成長できたと思っています。

私は2年間経済学部のメンバーのおかげでとても充実した日々を過ごすことができ、本当に感謝しています。これからも経済学部の発展のために、人々のつながりを深めるという方法で微力ながら貢献し続けたいと思います。

先輩方にはこれから何かとお世話になると思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

## 平成26年度経済学部卒業生就職先 (大学院卒を含む)

(順不同)

就職先	人数	(株)日本ラスパート	1	三井住友信託銀行(株)	4	T I S (株)	1
経済産業省	1	住友電気工業(株)	1	三菱UFJ信託銀行(株)	2	(株)Cygames	1
防衛省	1	村田機械(株)	1	(株)池田泉州銀行	2	(株)フルスピード	1
愛知県庁	1	ヤンマー(株)	1	(株)紀陽銀行	1	ファーウェイ・ジャパン(株)	1
兵庫県庁	1	ダイキン工業(株)	1	(株)近畿大阪銀行	2	アマゾンジャパン(株)	1
和歌山県庁	1	三菱電機(株)	4	(株)百五銀行	1	関西電力(株)	1
鳥取県庁	1	(株)安川電機	1	(株)京都銀行	1	中国電力(株)	1
京都市役所	1	富士通(株)	1	(株)広島銀行	1	北陸電力(株)	1
神戸市役所	2	ホーチキ(株)	1	(株)阿波銀行	1	九州電力(株)	3
茨木市役所	1	シャープ(株)	2	(株)福岡銀行	2	大阪ガス(株)	2
国立大学法人大阪大学	1	アイリスオーヤマ(株)	1	(株)宮崎銀行	1	(株)博報堂プロダクツ	1
大成建設(株)	1	(株)日立メディコ	1	住信SBIネット銀行(株)	1	(株)パソナ	1
鹿島建設(株)	1	(株) 凶 研	1	野村證券(株)	2	(株)ベネッセコーポレーション	1
(株)きんでん	1	日立造船(株)	1	大和証券(株)	2	(株)リクルート	1
三菱電機ビルテクノサービス(株)	1	三菱重工業(株)	1	SMB C日興証券(株)	2	(株)エスエスピー	1
(株)みらい住宅開発紀行	1	トヨタ自動車(株)	1	(株)かんぽ生命保険	1	M D I	1
キリン(株)	1	本田技研工業(株)	1	第一生命保険(株)	1	あずさ監査法人	1
(株)ケー・シー・エス	1	トヨタ車体(株)	1	日本生命保険(相)	1	有限責任監査法人トーマツ	1
(有)モリヨシ	1	伊藤忠商事(株)	1	住友生命保険(相)	1	大辻税理士法人	1
日本たばこ産業(株)	2	三井物産(株)	2	アメリカンファミリー生命保険	1	(株)中央損保鑑定	1
サンスター(株)	1	住友商事(株)	1	東京海上日動火災保険(株)	2	(株)日本ウィルテックソリューション	2
(株)アスコット	1	伊藤忠丸紅鉄鋼(株)	1	三井住友カード(株)	1	Grant Thornton Japan	1
(株)三菱総合研究所	1	(株)高島屋	1	三菱UFJニコス(株)	1	(株)TKC	1
レノゴ(株)	2	(株)ゼンショー	1	三菱UFJリース(株)	1	山田ビジネスコンサルティング(株)	1
住友理工(株)	1	日本政策金融公庫	1	東急不動産(株)	1	マッキンゼー・アド・カバニ・インク・ジャパン	1
アステラス製薬(株)	1	農林中央金庫	3	阪急阪神ビルマネジメント(株)	1	<b>合計</b>	<b>161</b>
田辺三菱製薬(株)	1	(株)ゆうちょ銀行	1	南海電気鉄道(株)	1	<b>&lt;進学先&gt;</b>	<b>人数</b>
ピアス(株)	1	(株)みずほフィナンシャルグループ	4	三菱倉庫(株)	1	大阪大学大学院	16
(株)オービック	1	(株)みずほ銀行	2	日本郵便(株)	1	東京大学大学院	2
(株)アグレックス	1	(株)三井住友銀行	6	日本テレビ放送網(株)	1	一橋大学大学院	2
(株)神戸製鋼所	1	(株)三菱東京UFJ銀行	3	讀賣テレビ放送(株)	1	<b>合計</b>	<b>20</b>
JFEスチール(株)	1	(株)りそなホールディングス	2	(株)毎日放送	1	<b>総合計</b>	<b>181</b>
丸一鋼管(株)	1	(株)りそな銀行	1	西日本電信電話(株)	2		

(注) 平成27年2月末現在、大学で集計されたデータをもとに作成したものです。



KNT-CT  
ホールディングス(株)社長  
**戸川 和良** さん  
(新22期)

## Q近鉄副社長から、近畿日本ツーリストとクラブツーリズムの持ち株会社の社長に

一昨年1月にホールディングスを設立しました。旅行業界でネットが主流になってきた時代に、近畿日本ツーリストの旧来型ビジネスモデルは厳しい局面に立っていました。一方でクラブツーリズムは、ずっと右肩上がりです。統合して立て直しを図りたい、というのがねらいでした。ツーリストの個人旅行と団体旅行を分社化して、「クラブツーリズム」を傘下に入れた体制でスタートしました。

## Qクラブツーリズムの新聞広告、テレビCMをよく見ます

無店舗のメディア型、お客さんの指向に合わせたコミュニティのようなものを作って300万人を超える会員を持っています。一日1万人を動かしている、多分日本で有数のお客さんを集められる会社です。

## Q社長に就任されて2年あまり

近畿日本ツーリストは、もともと団体には強い会社で、課題は個人旅行部門でした。立て直しを進める中で、販売会社と商品造成会社が別だったのを昨年一緒にしました。お客さんのニーズをより近い目線で捉え、商品化するためです。

もう一つは、クラブツーリズムとの連携です。近畿日本ツーリストのブランドとクラブツーリズムの優れた商品企画力を掛け合わせた統合シナジーの最大化を目指しています。商品の相互販売をはじめ共同イベントの開催、そして共同店舗も展開しています。

言うまでもなく、ネット対応は最重要課題です。しかし、ネットだけでは完結できないことがたくさんあります。そんな中で対面型の商売も残るし、ネット、店舗、コールセンターとマルチに対応していきたいと考えています。

グループ会社の人たちに「コモディティ化からの脱却」といつも言っています。

統合後3年目となり、中期計画も最終年度なので正念場だと思っています。

## Q外国人旅行者が急増しています

一昨年1,000万人やっとならぶのが、去年は1,300万人を超えて、今年は1,500万人になるといわれています。アジアの経済成長と円安やビザ発給要件の緩和によるところが大きいと思います。2020年に2,000万人といっていますが、前倒しで達成できるのでは。すでに大都市圏のホテルや飛

行機も取りにくくなっています。国は「地方創生」と言っていますが、地方へ訪日観光客を誘導する必要があります。

我々業界にとって、東京オリンピック・パラリンピックはビッグチャンスです。需要を取り込んでいかなければと思っています。

## Q日本の旅行会社としては

訪日旅行全体で2兆円市場のうち、数パーセントしか日本の旅行会社は取れていません。訪日客が団体から個人にシフトしていく中で、FIT(自己手配)は確実に増えています。クラブツーリズムの訪日客向け「YOKOSOバスツアー」は国内客と混載もさせるんですが、これが評判いい。旅は現地の人と触れるのが一番感動を残すんだと思います。「YOKOSOバスツアー」今年は倍増すると期待しています。

## Q近鉄グループとして

新しい特急「しまかぜ」に乗る旅行商品が、一昨年は遷宮もありましたし、大変好調です。今は「鉄道の旅」が増えてきています。高速バス事故の影響などで貸切バスの運賃・料金制度が変更され、価格が高騰してバスが使いにくくなっていることもあるんですが。

## Q近鉄では、どのような部門を

最初の3年は駅などの現場、古市列車区と河内松原駅の助役もしました。当時は河内松原駅でもアルバイトが背中を押していたんです。ホームの延伸、車両増結など輸送力増強の時代でした。そのあとは後方部門で、企画5年、広報6年、秘書5年を経て、広報部長5年、それからまた企画、そこで役員になりました。

## Q企画には2回

最初は企画とはいえ、畑違いの「藤井寺球場ナイター訴訟」を担当しました。反対派からは「環境を破壊する」「騒音が激しくなる」…、一つ一つに反論し騒音を測ったりしました。近鉄バファローズが強くなりつつあるときで、西本監督の下で初めてリーグ優勝もしました。その藤井寺球場も今はないので寂しいですね。

2度目の企画室は、近鉄が連結で大きな赤字、単体でも2期連続赤字を出して無配転落した頃でした。再建計画で、相当な資産を処分することになりました。人気のあった長寿番組「真珠の小箱」などもやめました。最後は近鉄球団もなくなりました。

## Q広報部長時代には

一番の思い出は、平成7年の全国一斉の私鉄運賃値上げの事前レクでした。その日の早朝阪神大震災が起きました。東京とやり取りしたら「レク実施」と、まさかと思いました。歩いてJR西日本本社にある青灯クラブに。西の窓から神戸の煙が見えました。20年で、あれだけ復興するのは、日本の強さを実感します。

## Q大学では、作道洋太郎ゼミ(日本経営史)、体育会合気道部

作道先生は、本当にやさしい、いい先生でした。パナソニックの中村さん(元同窓会長)はゼミ自慢の卒業生。合気道部では、夏は湯田中、春は各地で合宿。大学祭に店を出したり、クラブの仲間と過ごしている時間が多かったですね。

大学時代は多くの事を初めて経験できる貴重な時代。小田実の著書「何でも見てやろう」は何度も読み、その海外旅行のスタイルにあこがれたものです。後輩のみなさんには、何でも経験してやろうという貪欲な大学時代を送ってほしいと思います。

#### Q事業では新しい取り組みをいろいろされています

地元と一緒にイベントを作って大量送客する地域誘客・交流事業もその1つですが、去年、最上川で「ミュージッ

ク花火」を開催しました。これをモデルに全国へ、今年は福島でやります。

また、失われた文化財や街並みなどをバーチャル上再現させるウェアラブル眼鏡をかけて旅をする、新しい「スマートツーリズム」を企画・開発し、ツアーも実施しています。

近畿日本ツーリストは、「初めて」が多い会社で、国鉄の修学旅行専用列車、夜行スキーバスや海外チャーター便も業界初です。そのDNAをもって、これからも新しい旅行を産み出していくことが当社の使命だと考えています。



神戸市保健福祉局長  
**三木 孝**さん  
(新30期)

#### Q神戸市に就職されたきっかけは？

就職は元々民間志向で銀行から内定をいただいていたのですが、父親が難病にかかりまして、親の面倒が見られる地元ということで、またゼミの中谷巖先生に相談したところ「神戸市だったら色々な面白いプロジェクトをやっているからいいだろう」とのことで神戸市に就職しました。

#### Q神戸市でどのような仕事をされてこられましたか？

企画部門でマスタープラン策定や様々なプロジェクトの実施、保健福祉部門では、予算決算や新規事業の立案をやってきました。特に、震災前には神戸空港、震災後には医療産業都市といったプロジェクトに関わってきました。

神戸空港は、市役所に入庁当初から国際港湾都市である神戸市の活性化に必要だと思っていましたが、すでに関西国際空港を泉州沖に作る事が決まっていたのですが、阪神淡路大震災が起き、空港をどう活用するかで出てきたのが神戸医療産業都市構想です。

#### Q医療産業都市構想の実現に、ずいぶん長く担当されましたね。

阪神淡路大震災に遭って、それまでの都市機能が失われ産業がガタガタになりました。そこでがれき処分や仮設住宅として使っていた「ポートアイランド2期」の広大な土地を震災復興にどう活用するかを検討することになりました。神戸空港の前島として、震災前には関西初のテーマパークであるレジャーワールド計画があり、震災後はダイエーを中心にして大規模集客商業施設を作る構想があったのですが、「創造的産業復興」のために21世紀の重要産業となる先端医療産業誘致のプロジェクト「神戸医療産業都市構想」を進めることになりました。

大阪の道修町に日本を代表する製薬会社が本社を置いて

いたので、大学時代の友人にも助けてもらい治験などの勉強をしました。初めは医療機器の開発に焦点を当てアメリカのGEを誘致しようとして、ミネソタ州のメイヨークリニックを視察し、当時神戸市立中央病院の院長としておられた京都大学元総長の井村裕夫先生にお願いして医療研究拠点と企業誘致のコンセプトを作成していただきました。まだ、日本では知られてなかった「イノベーションは大学・企業・研究機関との連携から生まれる」というマイケル・ポーターのクラスター論に基づき、まずは臨床研究の中核施設を整備するとともに、理化学研究所を誘致し、さらには地元の中小企業とともに医工連携を図ろうと、様々な仕組みを作りました。

当時の最先端の医学研究であったES細胞などの再生医療と大阪の製薬企業と連携した医薬品の治験などイノベーションの仕組みの発想は井村先生をはじめとする京都・大阪・神戸の大学医学部の先生方をお願いしました。具体化するにあたって製薬企業や医療機器メーカーとともに、政府に要望し、国の資金を獲得するのが我々の役割で、施設や研究開発の仕組みを手作りでやってきました。当初は神戸市の震災復興プロジェクトでしたが、小泉内閣の時に関西経済界の応援もあり国家プロジェクトになり、さらに、第一次安倍内閣の時にスーパーコンピュータ「京」の誘致に成功し、日本を代表する国家戦略プロジェクトになり、現在活動する企業数も300を超えています。

#### Q阪神淡路大震災から20年経ちましたね。

震災当時は民生局の経理係長でした。自宅や家族は無事でしたが、民生局が災害救助の所管局でしたので、各区の避難所への食糧や救援物資の振り分けや配送に3日徹夜で対応しました。その後、政府との協議窓口になり2週間以上は自宅に帰れなかったのを覚えています。当日は、避難者の規模が想定外で近郊からの調達に間に合わず、東京都からの支援が一番でした。翌日にはダイエーが市内店舗を再開し、市民は救われました。その後も山崎パンなどをお願いして救援物資の搬送にコンビニの配送ルートを使ったり、自治体の救急ヘリや自衛隊のヘリを使ったりして、食事を避難所に配送しました。当時はボランティアの受け入れ態勢が整っておらず苦労したのが反省点です。

その後、1年間は、災害救助の仕事が続きましたが、震災当日の出勤時に見た震災の風景や仕事の経験が、その後の役人人生が変わったと思っています。市民のために性根を入れて命を懸けて働かなければと思いました。

**Q 学部の授業や大学時代の経験で役立ったことがあればお願いします。**

神戸市で大きなプロジェクトに携われたのも、きっちりと大阪大学で勉強できたことが大きかったです。外国人教師による英語やフランス語の授業が厳しかったことが医療の仕事をするうえで役に立ちましたし、中谷ゼミでも勉強しました。テキストは原書でやりましたし、当時から計量計算にコンピュータを使いました。経済学部の教育レベルは進んでいて非常に高いと思います。体育の授業や石橋駅からの登り坂で体力もつきました(笑)

**Q これから社会に出る現役の学生にアドバイスをお願いします。**

社会人になると自由な時間は取れなくなりますので、自分の好きなこと、興味のあることに打ち込んでください。また中谷先生に言われたことで「社会人になっても自分を磨くことを忘れるな。大企業だから偉いという時代はいつれ終わる。自分の知識と専門性を培って自分の価値を高めなさい」というものがあります。もう30年も前のことですが、先見の明がある言葉だと思いますので、これを学生のみなさんに贈りたいと思います。



プロギター奏者(クラシックギタリスト)  
石橋を拠点に活躍されています

**米阪 隆広** さん  
(新48期)

**Q ギターを始めたきっかけは？**

中学生の頃、自宅に父のギターがあったのがきっかけです。当時は教本や楽譜を見ながら、見よう見まねで弾いていました。大学に入学し、ギター部に入部したことで、本格的にギターに取り組むようになりました。ギター部では年に2回、6月と11月に大きな演奏会があり、それに向けて練習していました。学部ではゲーム理論のゼミに所属し、法経講義棟、部室のある明道館、練習会場の口号館を歩き来する毎日でしたが、当時はプロのギター奏者になることまでは考えていませんでした。

**Q プロのギター奏者になろうと思ったのは？**

3回生の発表会でソリストを務めたのが契機になりました。卒業後、一度は就職したものの、ギターの道を諦めきれず、26歳でプロ活動を始めました。しかし、プロになった当初はギターだけで生計を立てるのは難しく、予備校講師やスーパーなどでアルバイトをしていました。その後、徐々に演奏会などのお声掛けをいただくようになり、今はギターの活動に注力しています。きちんとプロとしての対価をいただくことで、自分自身の演奏に対する甘えもなくなると考えています。

**Q 現在はどのような活動をされていますか？**

演奏活動と教室でのレッスンを二本柱です。昨年は関西を中心に、名古屋や三重などで年間約50回の演奏を行いました。2014年まで、リッツカールトンホテルのイタリアンレストランでも演奏していました。

また、2010年からバンドネオン奏者の星野俊路さんとのデュオ「タンゴ・グレリオ」を結成し、アルゼンチンタンゴを演奏しています。阪大ギター部にはクラシック、ポッ

プスに加えて、タンゴのバンドがあるのが特徴です。私自身はクラシックのバンドでしたが、ギター部の演奏会ではタンゴを弾くこともあり、その時の経験が役立っています。同じ楽器でも、ピアニストは人数も多いため、各自が得意分野を持っていますが、ギタリストは「何でも演奏する」のが一つの特徴ではないかと思います。

友人からは、「個人で活動するので、自由でいいな」とよく言われますが、毎日が就職活動をしているようなものです。一つのコンサートが終われば、次のコンサートの予定を探さなければなりません。

**Q 石橋に「米阪ギター教室」を開設されました。**

以前は箕面市内で教室を開いていましたが、2013年に、交通の便が良い石橋の天神交差点の角に移転しました。車でも電車でも非常に便利な場所です。教室では小学生から60代までの約30人の生徒さんに教えています。最近、定年を機に「以前に弾いていたギターをもう一度習いたい」という方も増えています。

開設当初はチラシを配ったりしましたが、手間とコストがかかることから、今はインターネットを活用しています。ホームページやTwitter、Facebookに加えて、Youtubeに演奏の様子をアップするなど、費用をかけずにPRできるのが長所だと思います。実際、ホームページをご覧になってのお問い合わせが、月に数件あります。このようなマーケティングの発想は、経済学部での知識が役立っているのかもしれない。

**Q 今後はどのような活動に取り組みたいですか？**

昨今のデジタル機器の普及により、あらゆる音を機械的に作り出せるようになりましたが、ライブには生演奏ならではの良さがあります。ギターはよく知られた楽器ですが、生で演奏を聴いたことのある方は少ないと思います。実際に演奏を聴いて、少しでもギターに興味を持ってもらうことが、ギターファンの裾野拡大のために重要だと考えています。これからも、大きなコンサートだけでなく、街中でのイベントやレストラン・カフェでの演奏など、できるだけ多くの皆さんにギターを聴いていただける場面を提供できるよう活動していきたいと思っています。

# 会員管理部会から

会員管理部会長 三木 孝 (新30期)

## 1. 同窓会WEB名簿について

同窓会では、会員の個人情報保護の観点から、紙媒体による会員名簿は廃止して、昨年2月から同窓会のホームページにWEB名簿を掲載しております。同窓会ホームページのトップページからアクセスし、今年の会報に同封した会員番号（ID）とパスワードを入力すれば会員名簿をご覧頂けます。会員情報の検索のほか、ご自身の会員情報の変更手続きも可能になっております。

なお、同窓会年会費（5,000円）の未納の方は、ご本人のデータしか閲覧できませんので、未納の方につきましては、早急に同封の振込取扱票により年会費の振込を頂くようお願いいたします。また、年会費未納者の閲覧制限をはじめとする各種のルールに関しましても、WEB名簿に記載させて頂いておりますので、ご利用前にご一読頂く様お願いいたします。

従来の紙媒体による名簿に比べて、会員の皆様にはご不自由をおかけしますが、昨今の社会経済情勢と同窓会の財政状況をご理解頂いた上で、同窓会活動へのご協力よろしく申し上げます。

## 2. 会員部会からのお願い

- ・年会費は5,000円です。
- ・同封の振込取扱票により、郵便窓口で振り込みをお願いします。

### 年会費免除

- ・会則により卒業後（正会員資格取得後）40年を経過した方には年会費が免除されます。
- ・年会費が免除された方で志のある方には協賛金をお受けしておりますので、よろしく申し上げます。
- ・協賛金は一口1,000円で、できれば3口以上をお願いしております。同封の振込取扱票により郵便局窓口で振り込みをお願いします。

### 年会費の口座振替

- ・年会費は銀行等の口座から自動振替が利用できます。
- ・振替日は7月7日です。口座振替を希望される方は事務局へ連絡が来ますと、申込用紙を送付させて頂きます。
- ・また、同封の不明者連絡カードの裏面に☑を入れ

てご返信頂ければ、事務局より自動振替申込書をお送りします。

- ・ただし、口座振替は翌年度からになりますので今年度の年会費は郵便局で振り込み願います。

## 同窓会会員証（GCCOカード）

- ・年会費及び協賛金をお支払頂いた方には、同窓会会員証を送付させて頂きます。
- ・会員証をご提示頂くと、当同窓会が加入している大阪梅田のハービスプラザ6階の会員制クラブ「ガーデンシティクラブ大阪（GCCO）」をメンバー扱いでご利用できます。会員証は隔年発行で有効期限は2年とさせて頂きます。

## 3. 年会費納入と名簿情報確認のお願い

- ・**会員データ確認票**を同封しています。登録データをご確認頂き、修正・変更等が必要な場合は、WEBページから変更手続きをしてください。（ファクシミリで同窓会事務局までお送り頂いても結構です。）
- ・現在、年会費未納者が多数に上っており、このままでは、同窓会活動に支障をきたしかねません。WEB名簿サービスでは、年会費未納者はご本人以外の会員データを閲覧することが出来ません。これを機会に年会費の納入をお願いします。
- ・年会費を納入頂いた方は、納入頂いた年度と翌年度の名簿閲覧が可能になります。（例：平成27年7月に会費納入すると平成29年3月まで閲覧可能）
- ・**消息不明者のリスト**を同封しています。同期、同じゼミ、同じ勤務先などで所在をご存じの方がおられましたら、同封の不明者連絡カードに記入の上、個人情報保護シールを貼付しご返送願います。
- ・代表幹事の方には、同期で消息不明になられている方のご住所の確認作業をよろしく申し上げます。
- ・同窓会事務局への連絡は、メール、ファクシミリまたは電話（火・水・金曜日の午後1時～5時）でお願いします。  
Eメール：machikane@econ.osaka-u.ac.jp  
電話：06-6850-5275 FAX：06-6850-5276

# 事務局からのお知らせ

事務局長 安竹 素之 (新28期)

## ■第21回総会（2015年7月4日（土））にぜひご参加ください

今年は、2年ごとの総会の開催年であり、7月4日（土）、リーガロイヤルホテル大阪において開催します。記念講演は、経済学部卒業生で大日本塗料株式会社社長の岩浅壽二郎さん（新制19期、昭和46年卒）にお引き受けいただきました。興味深いお話がうかがえることと楽しみにしております。

冒頭のページでご案内しておりますように、3部構成で、記念講演に引き続き懇親パーティを開催しますので、この機会を利用して旧交を温めていただきたいと思います。

同窓会会員の皆様には、同期やゼミ会のメンバーとお

誘い合わせのうえ、ふるってご参加いただきますようお願い申し上げます。

## ■第11回ホームカミングデイの開催のお知らせ

毎年5月の連休期間中に開催される全学のホームカミングデイにあわせて経済学部ホームカミングデイを豊中キャンパスで開催しています。

今年は5月2日（土）に開催します。詳細につきましては、経済学部同窓会のホームページ（<http://www.machikaneyama.jp>）でお知らせしますので、ぜひお誘い合わせのうえご参加ください。お待ちしております。